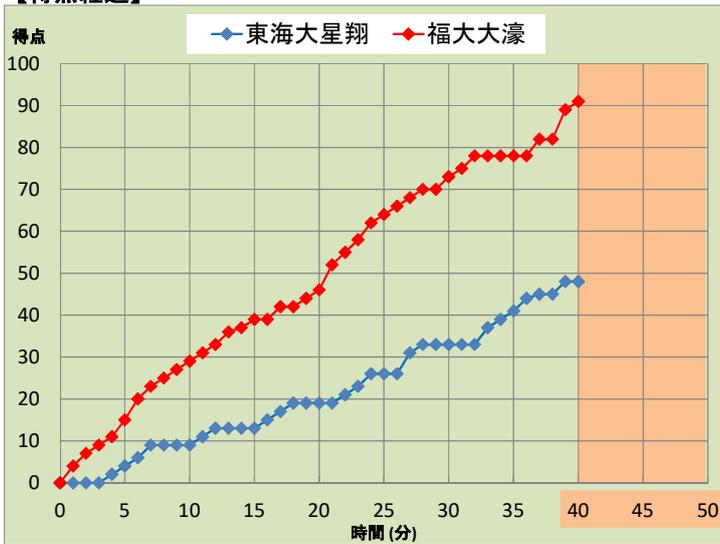


平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月24日 (土) 16:30	
コート	Aコート	第6試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	福岡 敏徳	
副審	千原 翔太	

TEAM A		TEAM B
東海大星翔	48	91 福大大濠
熊本2位		福岡2位
●		○

【BOXスコア】

TEAM A		東海大星翔高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松尾 侯雅	0				1	
5	江川 海	0					
6	石井 智大	17	2	5	1	1	
7	佐藤 拓亮	10		5		1	
8	趙 隆	3		1	1	2	
9	大林 良平	0				2	
10	井手口 京平	8	2	1			
11	黒木 佑樹	0				2	
12	中山 莉久	0					
13	藤本 翼	10		5		4	
14	田尻 啓太	0					
15	東 李成	0					
コーチ	本郷 宏						
合計		48	4	17	2	13	

TEAM B		福大大濠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	永野 聖汰	9	3			2	
5	上塚 亮河	2		1		1	
6	川島 聖那	6		2	2	2	
7	浅井 修伍	4		2		1	
8	中崎 圭斗	11		5	1		
9	藤井 宏治	2		1		2	
10	山本草 大	3	1			1	
11	西田 公陽	5	1	1		1	
12	土家 大輝	2		1			
13	木林 優	2		1			
14	横地 聖真	24	2	8	2		
15	井上 宗一郎	21		8	5	2	
コーチ	片峯 聡太						
合計		91	7	30	10	12	

【戦評】

全九州大会2回戦、熊本県2位東海大星翔対福岡県2位福大大濠との対戦、東海大星翔のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#10、#13。福大大濠のスターティングメンバーは、#4、#8、#12、#14、#15で試合開始。第1P試合開始早々#14の3P#8のペイントでの得点で全国大会常連校の強さを見せつける。開始3分11-0となり、東海大星翔はたまたずタイムアウト。タイムアウト後#10がシュートを沈め落ち着きを取り戻す。福大大濠は#8と#15の連携プレーでゴール下のシュートで点差を広げ、第1P9-29福大大濠リードで終了。第2P福大大濠は#4を中心にパスが縦横無尽に回り、どこのポジションでも点数が取れるスペーシングを創っている。東海大星翔は#6が果敢にシュートまでいくが、リングを通過せず。#7#10がドライブからシュートを沈め、また#13がメンバーチェンジ直後に連続得点をし、何とかもちこたえたが、19-46福大大濠リードで前半を終了した。第3Pは福大大濠が開始から4連続得点で引き離しにかかる。東海大星翔もシュートまではいっているものの福大大濠の激しいディフェンスの前に攻めあぐね、ミスが続く状況を打開できず33-73で福大大濠リードで第3P終了。第4P福大大濠はメンバーチェンジを巧みに行ない、チームバランスを考えたベンチワーク、選手層の厚い総合力で東海大星翔を圧倒した。東海大星翔もメンバーチェンジをした選手が一線目を走ることで、チームとしてのリズムが生まれ、エースの#6、#7が最終ピリオドで力を発揮したが、前半についた点差が大きく響き、最終スコアは48-91で福大大濠が準決勝に進出した。

【戦評記者】 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会